

第 14 回 スチュワードシップ・セミナー

主催：一般社団法人 スチュワードシップ研究会

『機関投資家によるスチュワードシップの実践と展望』

～コーポレートガバナンス改革の実質化を目指して～

【日時】 2025 年 10 月 8 日（水）午後 3：30～5：30

エキストラ・セッション 5：45～6：30

ZOOM Webinar による開催（参加費無料）

（Webinar は野村総合研究所のご協力をいただいています）

参加を希望される方は下記 URL からお申込みください

https://cu-nri.zoom.us/webinar/register/WN_3YB34tUeREuv9wm9BA2oXQ

スチュワードシップ・コード、コーポレートガバナンス・コードの制定から 10 年が経過し、この間に日本の機関投資家のスチュワードシップ活動や日本企業のコーポレートガバナンスの景色は大きく変わった。政策当局からはコーポレートガバナンス改革の「実質化」を強く意識して、企業と投資家の対話のさらなる促進のための環境整備を進めることが示されている。

この節目に当たり、スチュワードシップ研究会では本年 4 月に『機関投資家によるスチュワードシップの実践と展望』と題した図書を出版した。本セミナーでは、この図書での論点も踏まえつつ、アクティブ、パッシブ、協働エンゲージメントなど多様な実務経験を持つパネリストが、スチュワードシップとガバナンス改革の目指す方向、機関投資家の対応などについて議論を行います。

【参考図書】『機関投資家によるスチュワードシップの実践と展望—スチュワードシップ・コードの 10 年—』

木村祐基編著・スチュワードシップ研究会著（同文館出版、2025 年 4 月）

【講師と演題】

■ 講演（3：30～4：00）「2つのコード 10 年の成果と課題」

木村祐基 スチュワードシップ研究会 代表理事

■ パネルディスカッション（4：00～5：30）

「ガバナンス改革の実質化に向けた機関投資家の役割と取組み」

～スチュワードシップ活動は役に立つのか？～

パネリスト：

河北博光氏 根津アジアキャピタル パートナー

松原 稔氏 りそなアセットマネジメント 常務執行役員

山崎直実氏 機関投資家協働対話フォーラム 代表理事 事務局長

モデレーター：

神山直樹氏 アモーヴァ・アセットマネジメント チーフ・ストラテジスト

【講師・パネリストのご紹介】

木村祐基（きむら ゆうき）

スチュワードシップ研究会代表理事。野村総合研究所にて証券アナリスト業務に従事。その後、野村アセットマネジメント、企業年金連合会にて企業調査、コーポレートガバナンス等を担当。2010年から金融庁総務企画局企業開示課専門官として2014年のスチュワードシップ・コードの策定等に携わる。2014年、研究会設立に伴い現職。現在、一般社団法人機関投資家協働対話フォーラム理事長を兼務。

河北博光（かわきた ひろみつ）氏

根津アジアキャピタルリミテッド パートナー。1993年日本生命保険相互会社入社、ニッセイアセットマネジメント株式会社株式運用部担当部長、APSアセットマネジメント（シンガポール）日本株CIO、ユナイテッドマネージャーズジャパン株式会社シニアポートフォリオマネージャーなどを経て、2024年12月より現職。日本株アクティブファンドマネージャーとして約30年の経験を持つ。日本証券アナリスト協会検定会員。

松原稔（まつばら みのる）氏

りそなアセットマネジメント株式会社チーフ・サステナビリティ・オフィサー 常務執行役員 責任投資部担当。1991年りそな銀行入行、以降一貫して運用業務に従事。投資開発室及び公的資金運用部、年金信託運用部、信託財産運用部、運用統括部、アセットマネジメント部で運用管理、企画、責任投資を担当。2020年4月りそなアセットマネジメント執行役員 責任投資部長。2023年8月より現職。インパクト志向金融宣言運営委員会副委員長、経産省SX銘柄検討会委員、インパクトコンソーシアム運営委員。日本国際博覧会協会「持続可能性有識者委員会」委員等多数。

山崎直実（やまざき なおみ）氏

一般社団法人機関投資家協働対話フォーラム代表理事・事務局長。1985年株式会社資生堂入社。2003年よりコーポレートガバナンス、ディスクロージャー、株主総会・株式実務、IRを担当。機関投資家、ESG調査機関、年金基金等との対話を重ね、IR/SRを推進。2014年、一般社団法人株主と会社と社会の和を設立、代表理事（現職）。2017年、機関投資家協働対話フォーラム設立に伴い現職。経産省「持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築～（伊藤レポート）」委員などを歴任。

神山直樹（かみやま なおき）氏

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 チーフ・ストラテジスト。1985年、日興証券株式会社（現SMBC日興証券株式会社）入社、外資系証券の日本株ストラテジストを経て、2015年1月より日興アセットマネジメント（2025年9月よりアモーヴァ・アセットへ社名変更）にて現職。CFA協会認定証券アナリスト、日本証券アナリスト協会検定会員、証券アナリストジャーナル編集委員。

【お問合せ】

スチュワードシップ研究会の活動や当セミナーについてのご質問は下記のメールアドレスにお問い合わせいたします。 info@stewardship.or.jp

【 エキストラ・セッション】 (5:45~6:30)

セミナー終了後、次のようなエキストラ・セッションを行います。
お時間のある方はぜひ続けてご参加ください。

「女性活躍で切り拓く企業の未来」

～人的資本の多様化、最大化は企業価値をいかに向上させるか～

パネリスト

榎野 尚氏 Kaname Capital ヘッド・オブ・リサーチ

松本陽子氏 MSCI エグゼクティブ・ディレクター

近江静子氏 JP モルガン・アセット・マネジメント

インベストメント・スチュワードシップ統括責任者

モデレーター：

三井千絵氏 野村総合研究所 プリンシパル研究員

【参考図書】『女性活躍で切り拓く企業の未来—企業価値向上のグローバルスタンダード—』
意見発信する投資家の会著(中央経済社。2025年)

*参加者のうちご希望の方から抽選で2名様に上記図書を贈呈します。

【パネリストのご紹介】

榎野 尚 (まきの なお) 氏

Kaname Capital ヘッド・オブ・リサーチ。2012年東京大学法学部卒業後、モルガン・スタンレーMUFJ証券にて株式調査を担当。14年からみさき投資にてエンゲージメント投資に携わった後、2022年米コロンビア大学経営大学院修了(MBA)。同年から現職。日本証券アナリスト協会 認定アナリスト(CMA)。論文に「創業家持分が多い企業のガバナンス」(みずほ証券資本市場アップデート)など。

近江静子 (おうみ しずこ) 氏

JP モルガン・アセット・マネジメント株式会社 インベストメント・スチュワードシップ統括責任者 エグゼクティブ ディレクター。エス・ジー・ウォーバーグ証券会社に入社、クレディ・スイス信託銀行、アムンディ・ジャパンにて日本株式調査に従事したのち、15年よりESGリサーチ部長を務める。2020年より現職。2021年より金融審議会ディスクロージャーワーキング・グループメンバーとしてサステナビリティ情報開示に関する審議に携わる。

松本陽子 (まつもと ようこ) 氏

MSCI エグゼクティブ・ディレクター、日本におけるサステナビリティおよびクライメートビジネス責任者。1994年にキャリアをスタート。外資系運用会社で日本の機関投資家向けサービスや国内におけるESGに係る開示を担当。2025年7月より現職。インパクト志向金融宣言アセットオーナー・アセットマネジメント分科会共同座長、インパクトコンソーシアム市場調査・形成分科会ディスカッションメンバー(第一期)を務めた。英国立レディング大学大学院安全保障学修士号、同政治学・国際関係学学士号取得。

三井千絵 (みつい ちえ) 氏

野村総合研究所上級研究員。東京理科大学物理学修士。時事通信社を経て、2008年より野村総合研究所で研究員を務める。専門は企業開示情報、関連制度。2014年から2020年までIFRS財団の電子開示に関する諮問グループITCG、2021年よりCFA協会の企業開示指針委員会のメンバー。投資家・アナリストの為の効率的な開示に関して意見発信を行う。IFRS、ガバナンスコード、海外非財務情報開示の動向、サステナブル・ファイナンス等の研究を行っている。経済産業省非財務情報開示指針研究会委員